



2020年12月14日

差枚

+4270枚

RANK

S

実戦機種

パチスロ偽物語、パチスロ ラブ嬢2、交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO

実戦レポート

色々なことがあった2020年だが、ふと気付けばもう12月である。この企画の実戦も、一年の区切りを迎える日が近付いている。そういった意味で今回の実戦ホールを見てみると、単純な差枚数の戦績だけでいえば1勝6敗。唯一のプラスとなった先月もたったの+45枚という体たらくで、A級以上のランクは一度も獲得できていない。しかも、これまで何度もその後悔を綴ってきたように、高設定に座りつつも活かせなかったり、粘れずに捨てたり、空いていたのに攻め切れなかったりと、内容もてんでダメなのだ。お世辞でなく、このお店でこんなに負けているのは、常連客の中でオレぐらいじゃないだろうか？

だが、毎回実戦の朝に考えることは同じ。今日こそは！ その気持ちで入場抽選を引いたところ「51番」と出た。再整列で並んだ人数を数えてみると、60人。めちゃくちゃ後ろじゃねーかよ。最後までこんな感じか…。だが、もちろん諦めるのはまだ早い。全台系狙いは断念し、バラエティや少数台機種のシマへ直行。ひとまず抑えたのは「パチスロ偽物語」だが、これを粘るつもりはそれほどない。あわよくば高設定だったらいいな～、ぐらいなもので、それよりも特定末尾などの気配に注意しつつ、勝負を預けられる台を探すほうが先決だ！

というわけで、1台目はたった2Kで諦めて、なんとなく朝イチの立ち上がり良さそうに見えた末尾をチェックして空き台を吟味し、2台目に選んだのは「ラブ嬢2」。だがこれも3周期目まで消化してアフターデートもなく、捨て時だな…と再び店内状況へ目を向けた矢先にすぐ見つかったのが、3台目に選んだ「エウレカ3」だった。

なんだか非常にデジャヴ感のある、どこかで見たような立ち回りだが、今までと違うのはエウレカ3がまだほとんど回されておらず、ほぼ朝イチ状態なこと。開店直後は確かにキープされていた記憶があるので、おそらく前任者は一旦キープしたものの他の台の方が良いと早々に判断し、手放したのだろう。その、「一旦キープした人がいる」という事実は、少なくともオレより早い番号で入った誰かが「高設定が入りそうだった」ということであり、打つ理由が少し強まるものだった。まあ、ただ単にエウレカ3が大好きだから、四の五の言わずに打つんだけどな。すると、これがまたかつてないほど良好な挙動で、初当りもAT突入率も絶好調。REGを引こうがBIGを引こうが、6択を当てて勝率を上げてATへ突入し、打てば打つほどメダルが増える展開に。SPEC3モードへ3回、エンディングも2回到達する継続の上手さも手伝って、出玉の最高点でヤメることに成功。確定要素は出なかったけど、これはS級で良いでしょう！